

1	会議名	平成22年度第1回習志野市消防委員会
2	開催日時	平成22年10月22日(金) 午後3時～4時30分
3	開催場所	習志野市消防本部4階会議室
4	出席者名	<p>習志野市長 荒木 勇</p> <p>習志野市消防委員会（6名）</p> <p>委員長 宮本 博之</p> <p>副委員長 石井 友治</p> <p>委員 宮原 静</p> <p>委員 沖本 光司</p> <p>委員 三代川 磐</p> <p>委員 三代川彦博</p> <p>習志野市消防本部（事務局13名）</p> <p>消防長 土屋恭司</p> <p>次 長 古賀弘徳</p> <p>次 長 郡司好夫</p> <p>中央署長 土本克巳</p> <p>南署長 大堀祐基</p> <p>総務課長 酒井薫</p> <p>予防課長 森田義文</p> <p>警防課長 遠藤孝</p> <p>指令課長 鈴木春雄</p> <p>総務課員 4名</p> <p>傍聴者 1名</p>
5	議題及び 会議の概要	<p>議題</p> <p>1 今後の消防体制のあり方について</p> <p>(1) 会議概要</p> <p>本市では、今年6月に習志野市公共施設再生検討専門協議会が設置され、老朽化が進む公共施設を、将来にわたり持続可能な量と質へと転換し、時代の変化に応じた行政サービスを維持するため、中長期的視点に立った公共施設の再生計画が検討されることとなりました。</p> <p>このようなことから、消防本部内に長期計画検討プロジェクトを設置し、今後の消防体制のあり方について検討を行っているところであります。</p> <p>本日の消防委員会において、今後の消防体制のあり方について各委員より意見が出されました。</p> <p>その意見等を踏まえ、消防本部の検討プロジェクトにおいて十分に検討した上で、更に審議を続けていくこととなりました。</p> <p>(2) 質疑</p> <p>(委 員) 署所を減らす方向で、検討していくのか。</p>

		<p>(事務局) 時代の変化に応じた消防体制の構築を図るため、消防委員会、消防団や市民の意見等を踏まえて署所の統廃合等が可能かどうか検討していく考えです。</p> <p>(委員) 先般の集中豪雨では、署・団ともほぼ全車両が出動し活動を行う状況であったが、車両、人員については少なくとも今の体制で同じ数が必要だと思うのですが、どのように考えているのか。</p> <p>(事務局) 現行でもポンプ車が不足しており、これ以上減らすことは消防力の低下になるため、車両、人員を減らすことは考えていません。</p> <p>(委員) 耐震補強が必要な施設として、中央消防署と南消防署があるが、どのような計画があるのか。</p> <p>(事務局) 中央消防署及び南消防署は、耐震診断を終え、一部強度が不足している部分があります。中央消防署は、本年度において耐震補強の基本計画を委託中であり、どのように補強して行くかは、まだ決まっていません。</p> <p>(委員) 普通救命講習の取り組みと救急救命士の養成について、どのように計画しているのか。</p> <p>(事務局) 普通救命講習については、市民の20%に普及することを目標としており、これまで毎年度2,000人を目標に取り組んできましたが、消防団員等の協力を得て、今後は2,500人を目標にしていきます。</p> <p>救急救命士は現在24名であるが、毎年度2名の養成を行い、常時救急車に搭乗させるために30名以上を確保していく考えでおります。</p> <p>(委員) 実籾分遣所の建て替え計画は、どのようになっているのか。</p> <p>(事務局) 平成21年度に基本設計を委託し、23年度に実施設計、24,25年度に建築を予定しています。</p> <p>(委員) 谷津分遣所の建て替え計画は、どのようになっているのか。</p> <p>(事務局) JR津田沼駅南口開発地の35ha内に、1,200㎡の消防用地が位置づけされており、平成26年度までに取得を図っていく予定ですが、その後の計画は決まっていません。</p> <p>(3) 意見</p> <p>(委員) 普通救命講習は一般市民に対象を絞っておられるようですが、高校生や大学生はある意味成人より素晴らしい活動能力を持っておりまして高校生や大学生を対象にした普通救命講習を考えてみてください。</p> <p>(委員) 消防は、起こるか起こらないかわからない災害に対しての備</p>
--	--	--

		<p>えであり、消防力がなければ本当の災害時に後悔してしまう感がある。</p> <p>本市の火災件数が少ないことや幼稚園児や市民が消防署の見学、訓練等を通して防災力を高めていることも1つの消防力の表れであり、災害が無いから車両や人員を削減するのではなく、災害が無いから一層、消防に充実した備えをすべきと考えています。</p>
6	報告事項等	<p>1 実籾分遣所建替計画について</p> <p>平成21年度に基本設計を終了し、平成23年度に実施設計、24、25年度に建設を予定しています。</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 敷地 全体 1964.94㎡(既存 666.91㎡ 拡張地 1298.03㎡)</li> <li>○ 構造 鉄筋コンクリート造 2階建て</li> <li>○ 延面積 1,000㎡程度</li> <li>○ 車庫 5台の車両収納可能(はしご車収納可)</li> <li>○ 仮眠室等 個室型とし、女性職員エリアを確保</li> <li>○ 倉庫 化学消火薬剤・機械器具等の保管スペースを確保</li> <li>○ 訓練スペース 庁舎前で操法訓練等が可能なスペース及び棟屋に訓練塔を確保</li> </ul>
7	問い合わせ	<p>所管課:習志野市消防本部総務課企画管理係</p> <p>電 話:047-452-1282</p>